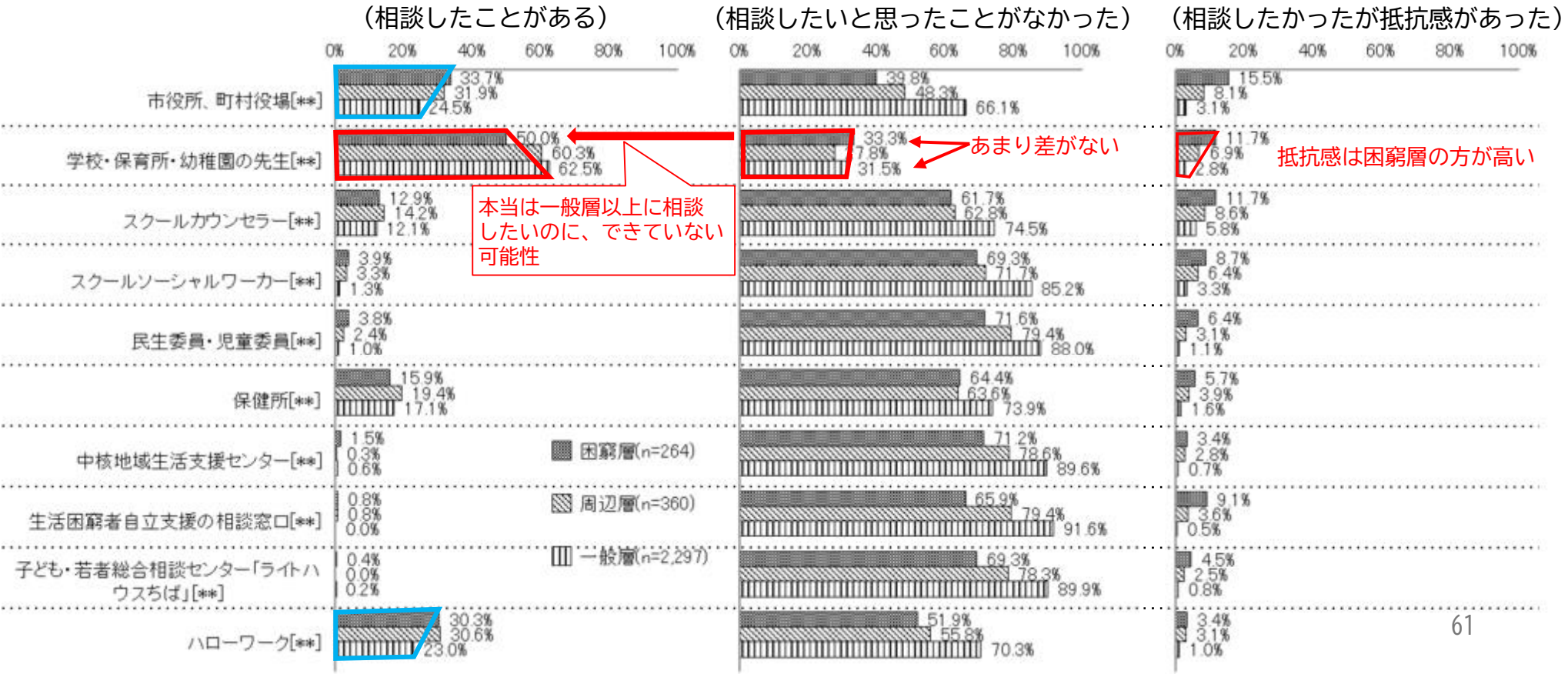
支援の利用状況（相談機関等）

- 公的機関等への相談状況について、
  - **市役所、ハローワーク**等に対しては**困窮層**の方が利用率が**高い**
  - 一方で、**学校等の先生**に対しては**困窮層**の方が利用率が**低い**
- **「相談したかったが抵抗感があった」**割合は全て**困窮層**が**高い**。

⇒**困窮層**ほど**相談への抵抗感**が強く、特に**身近な機関**には**相談できていない**傾向。

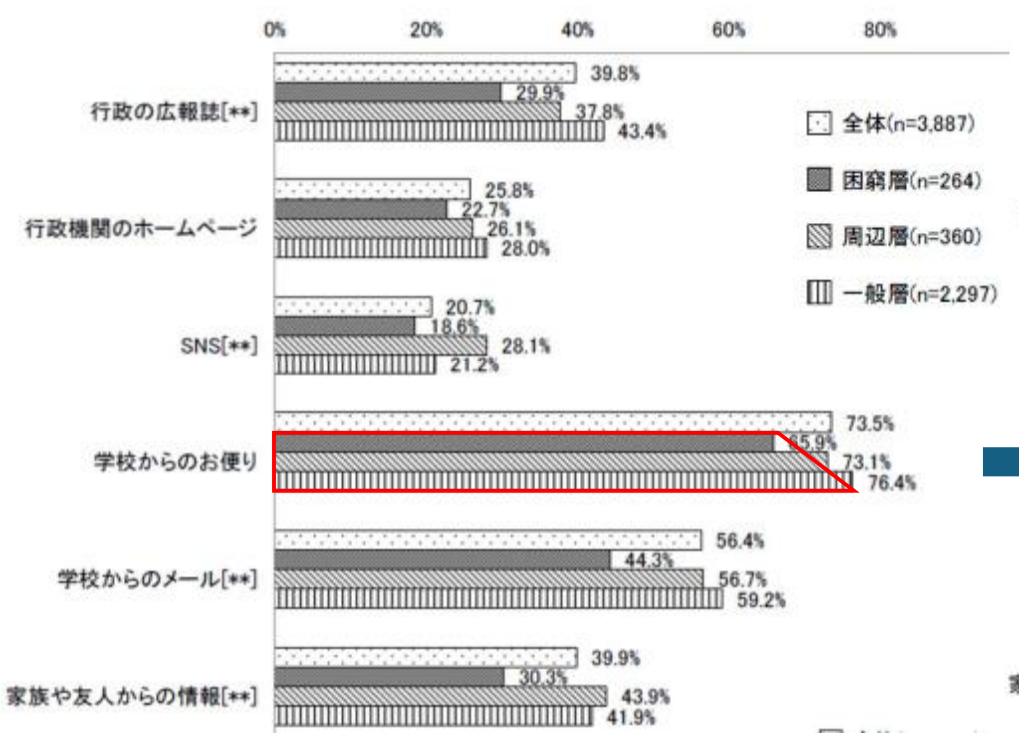


支援制度等の情報の受取方法（生活困難度別）

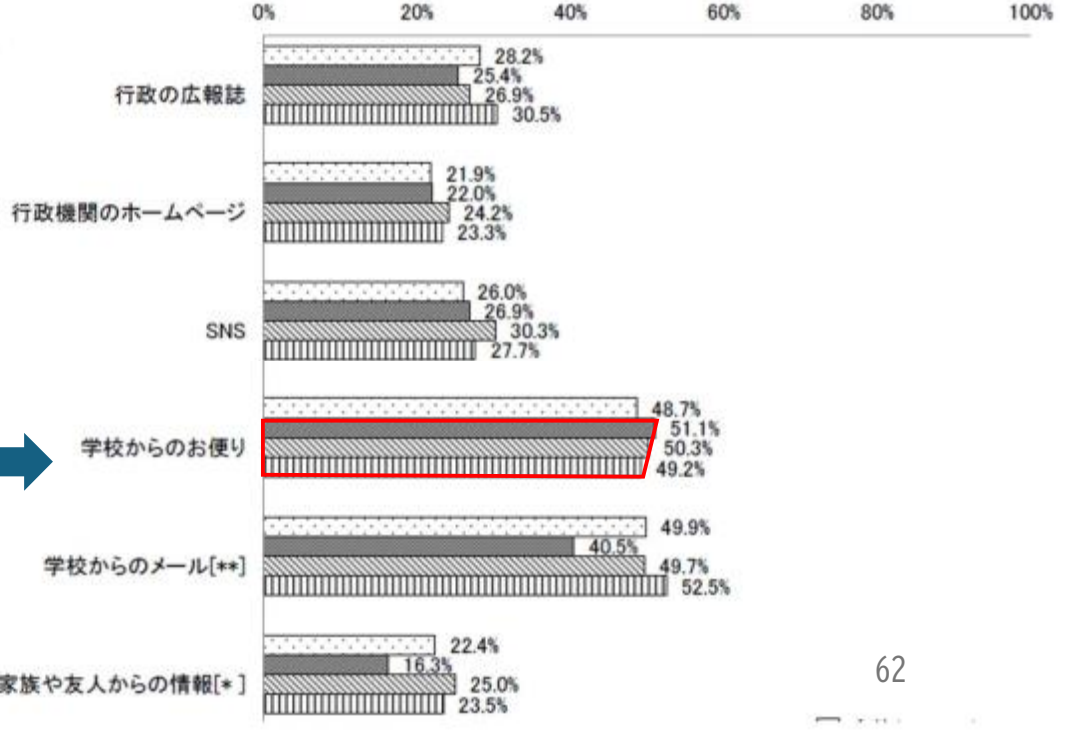
- **現在**の受取方法は**「学校（お便り・メール）」**が中心。
  一般層に比べ**困窮層**の方が全体的に割合が**低い**。
  ⇒**困窮層**ほど**情報が届いていない**可能性がある。
- **今後**受け取りたい方法では**「学校からのお便り」**において**困窮層**が一般層を**上回っている**。⇒“現在の受取方法”から**逆転**

＜小学生＞

（現在の受取方法）



（今後受け取りたい方法）

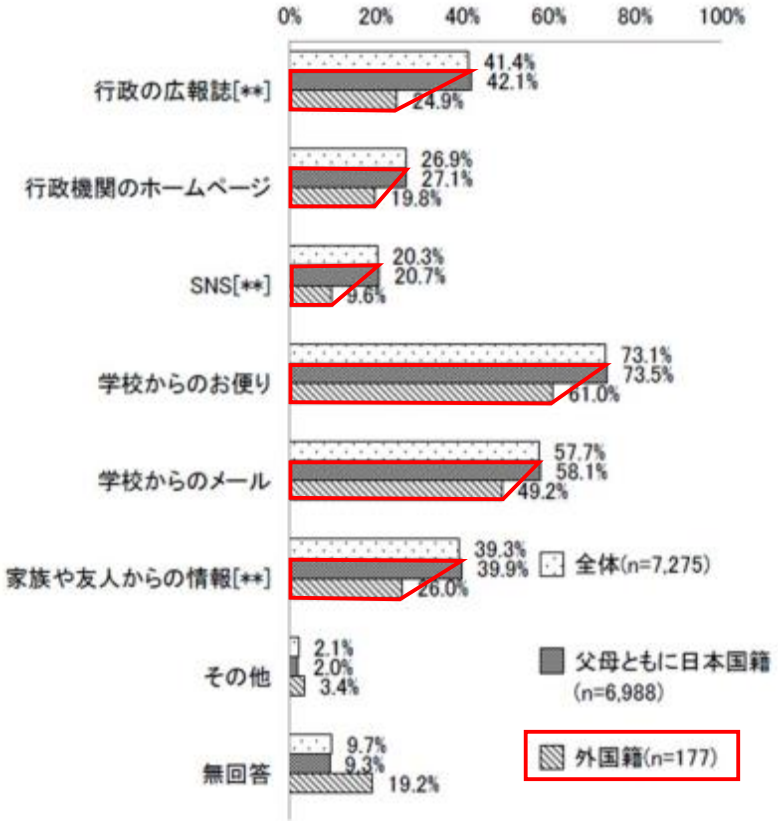


【+α】支援制度等の情報の受取方法（保護者国籍別）

- 保護者が**外国籍**の場合、両親とも日本国籍の家庭に比べ、
  いずれの受取方法も**10ポイント**程度**低く**なっている。

  ⇒外国にルーツのある家庭には、支援情報が**十分に届いていない**可能性。

（現在の情報受取方法）



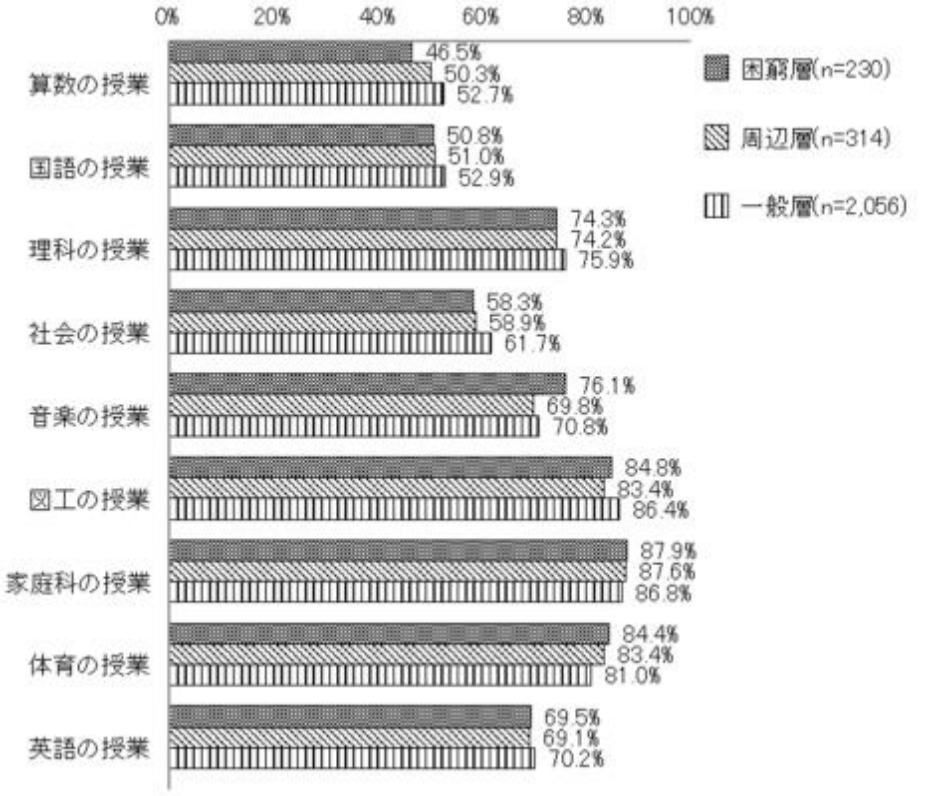
基本集計②
こどもアンケート集計結果

学校での楽しみ（授業）

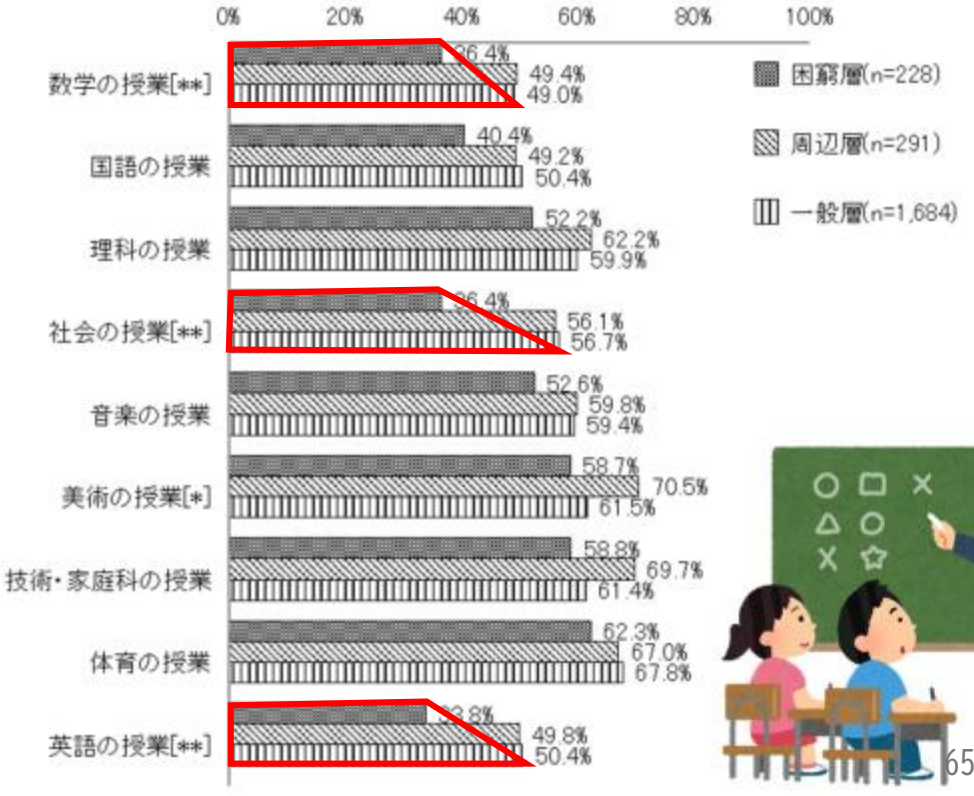
- **各授業**を**「楽しみ」**と回答した割合は、
  - 全般的に、小学生に比べ**中学生**の方が**低く**なっており、
  - **生活困難度による差**も、**中学生**の方が**大きく**なっている。

※小学生は有意差なし。中学生は数学、社会、美術、英語で有意差あり。

＜小学生＞　※「楽しみ／とても楽しみ」の割合



＜中学校＞



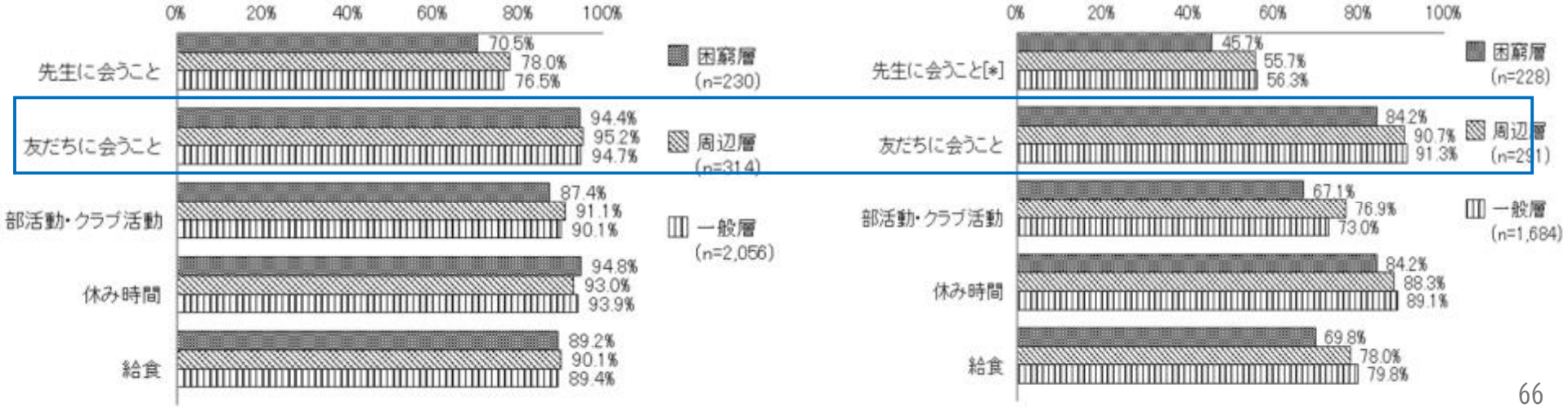
学校での楽しみ（生活）

- **学校生活**に関する項目で**「楽しみ」**と回答した割合は、
  - ・全般的に、小学生に比べ**中学生**の方が**低く**なっており、
  - **・生活困難度による差**も、**中学生**の方が**大きく**なっている。

※ただし、有意差があるのは中学生の「先生に会うこと」のみ。

- 一方、小学生・中学生ともに、全ての層において、
  「友だちに会うこと」を楽しみとする割合が**かなり高い**。←「授業」（前問）を含めても

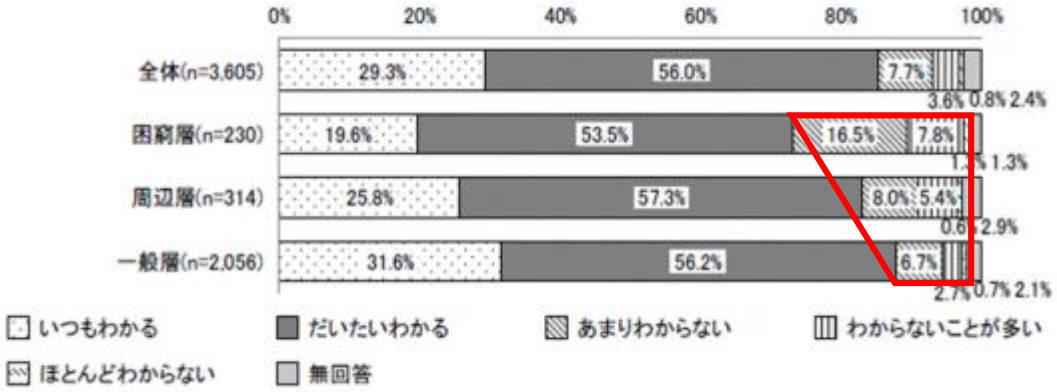
＜小学生＞　※「楽しみ／とても楽しみ」の割合　＜中学校＞



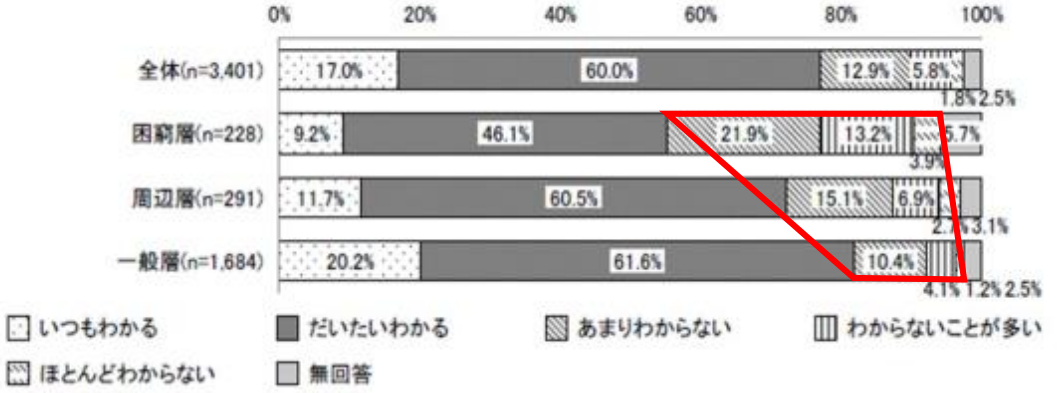
授業の理解度

- 一般層に比べ**困窮層**では**「学校の授業が分からない」**と感じる割合が**高い**。
  その傾向は、**中学生**において**顕著**になっている。

＜小学生＞（p<.01）



＜中学生＞（p<.01）

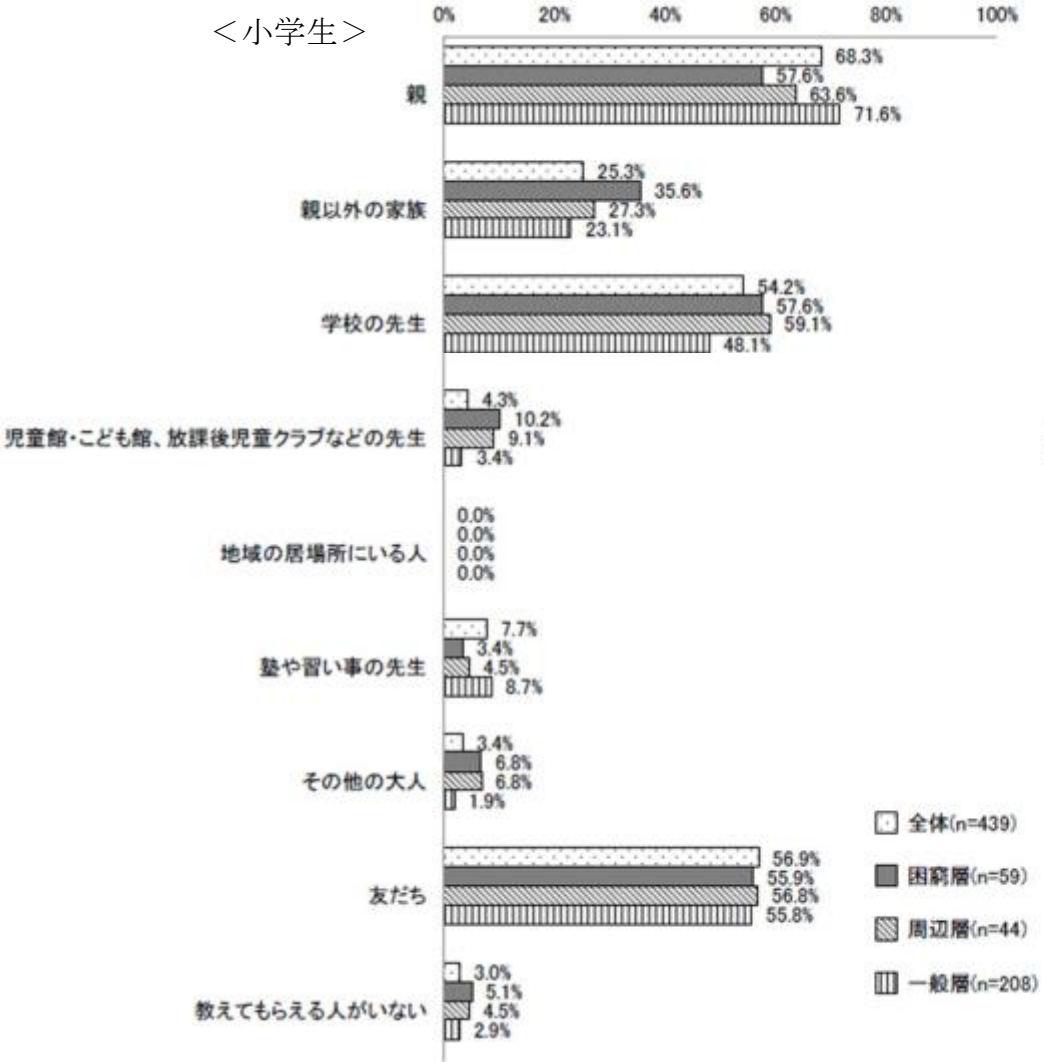


（勉強がわからないときに）

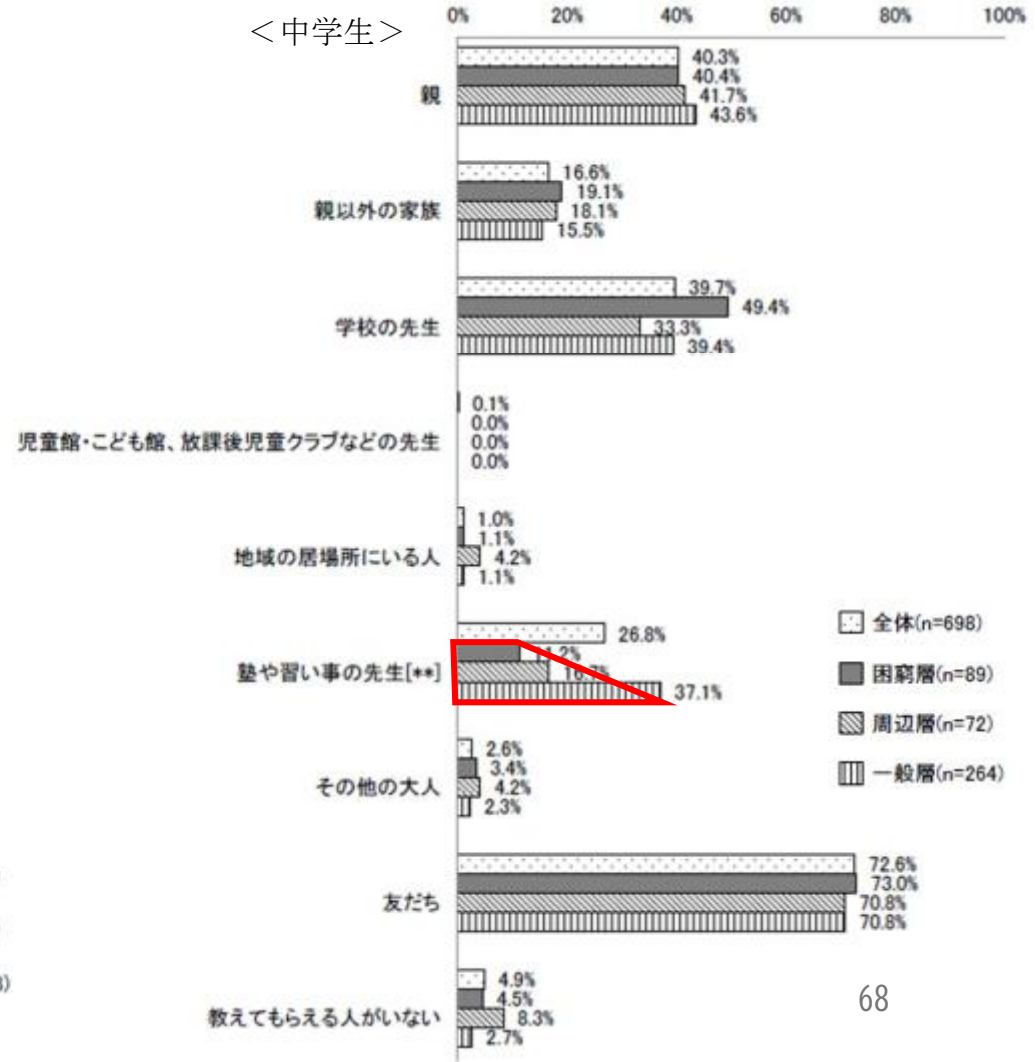
勉強を教えてもらう人（生活困難度別）

- **中学生**では、**困窮層**ほど**「塾や習い事の先生」**と回答する割合が**低い**

＜小学生＞



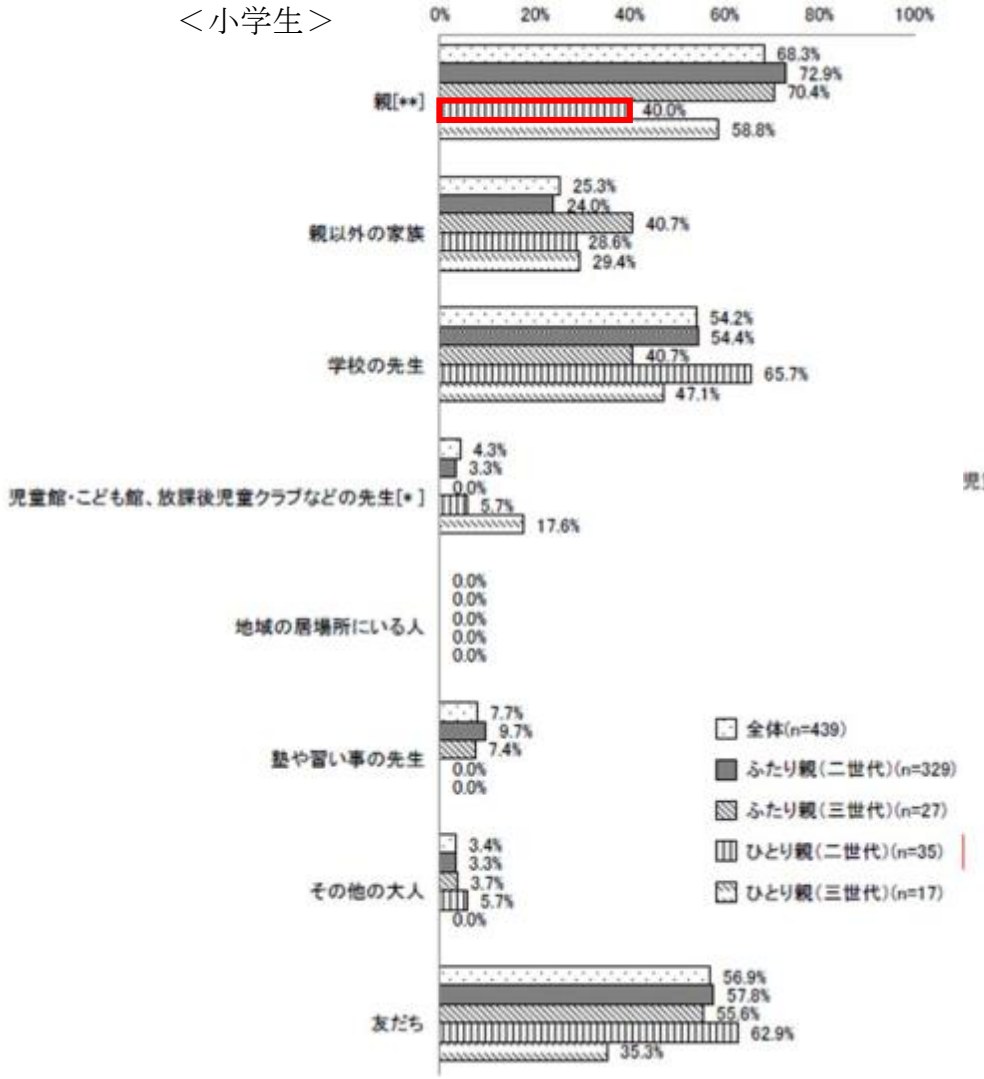
＜中学生＞



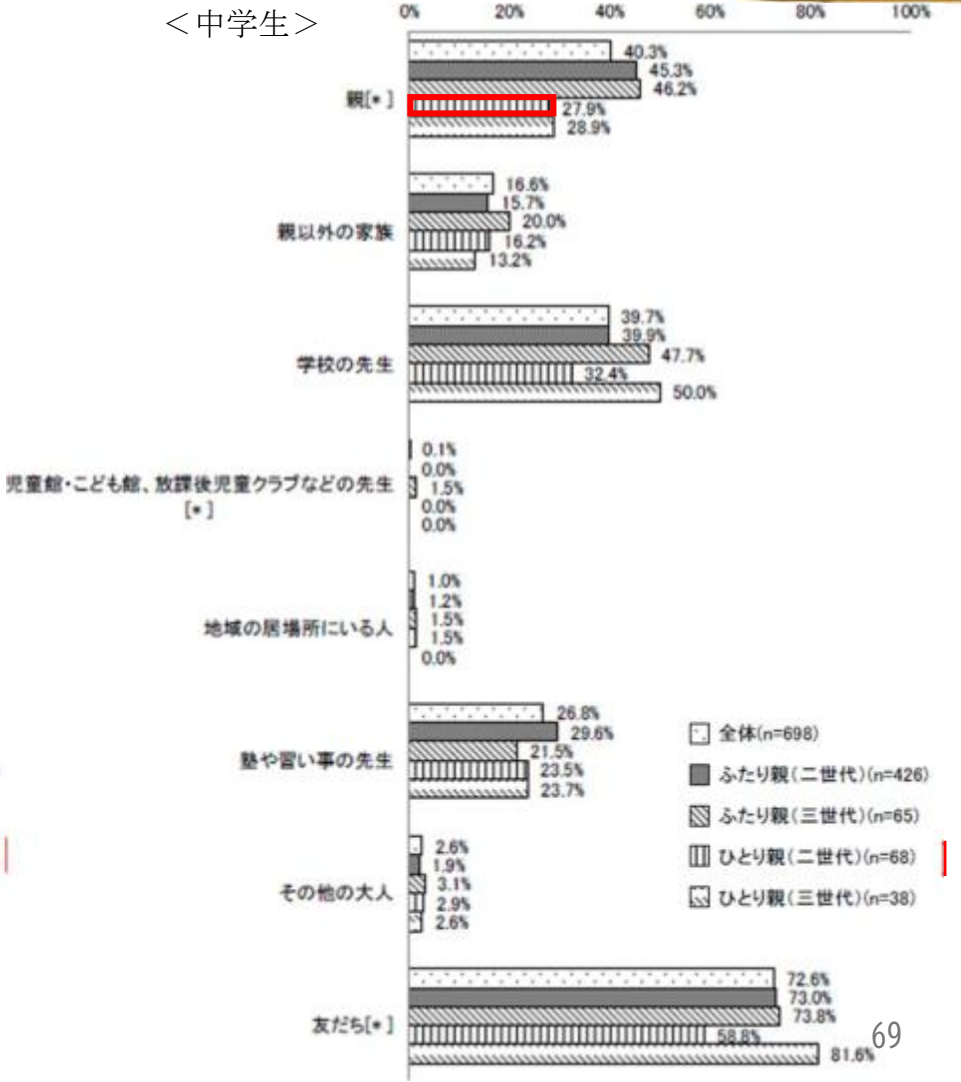
（勉強がわからないときに）
勉強を教えてもらう人（世帯タイプ別）

- **ひとり親世帯**の方が**「親」**と回答する割合が**低い**。

＜小学生＞



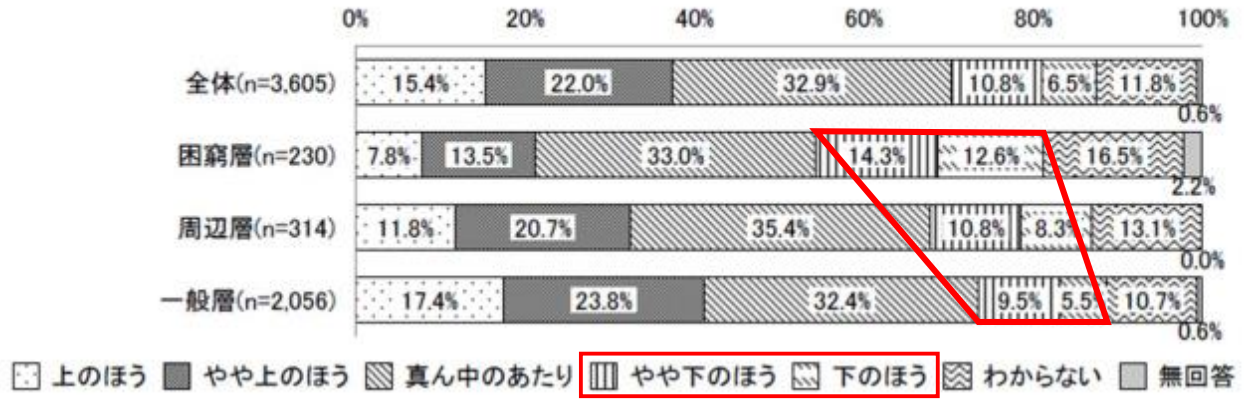
＜中学生＞



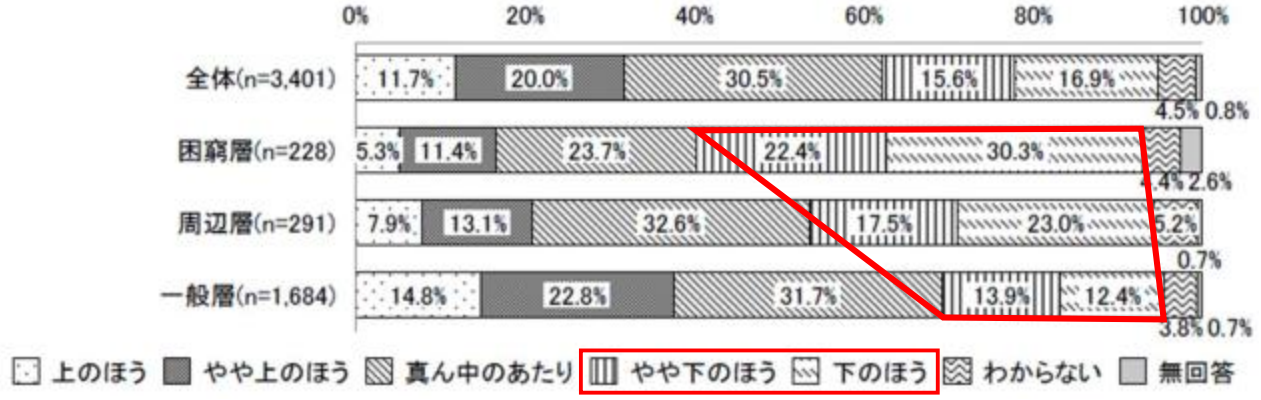
クラスの中での**成績**

- クラスの中での成績について、一般層に比べ**困窮層**において
  「下のほう／やや下のほう」と回答した割合が**高い**。※中学生において顕著。

＜小学生＞（p<.01）



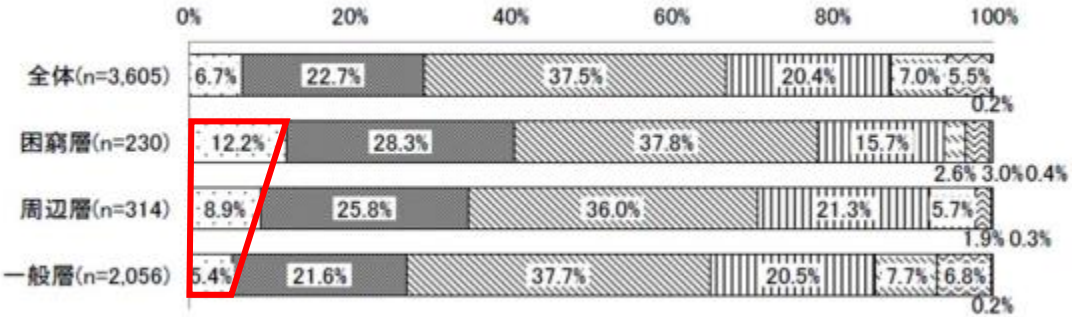
＜中学生＞（p<.01）



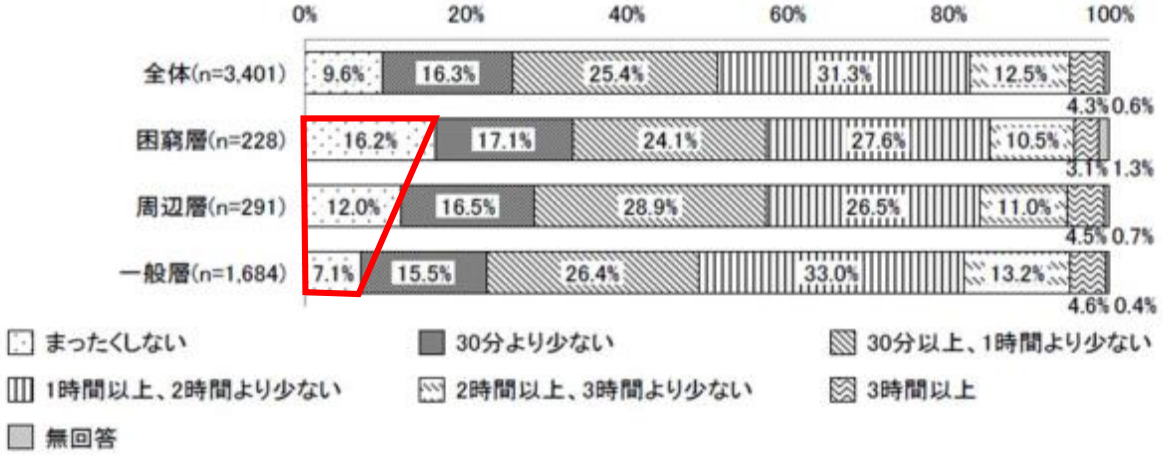
（授業以外での）
１日あたりの勉強時間

・ 一般層に比べ**困窮層**では**「まったく（勉強）しない」**割合が**高い。**

＜小学生＞（p<.01）



＜中学生＞（p<.01）

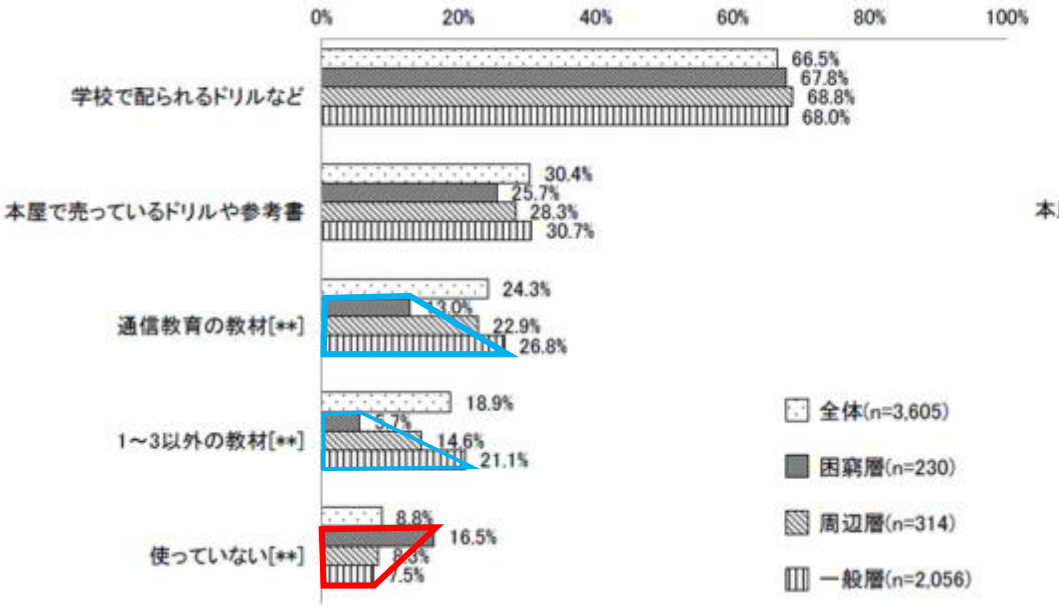


自宅で使う教材

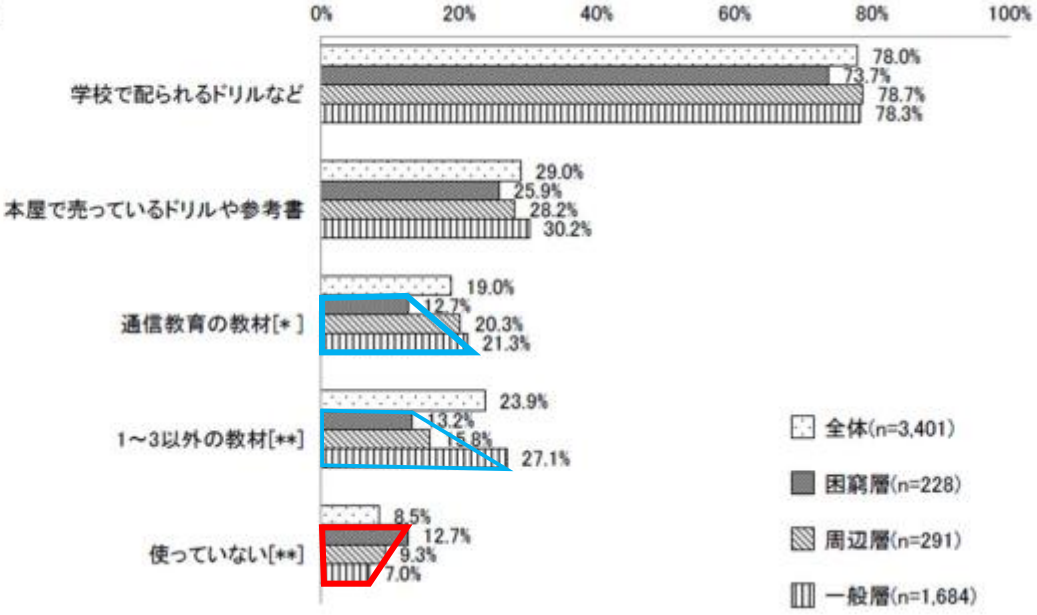
- 一般層に比べ**困窮層**では**「使っていない」**割合が**高い。**

  特に**「通信教育の教材」**等で**生活困難度による差**が**大きい。**

＜小学生＞



＜中学生＞

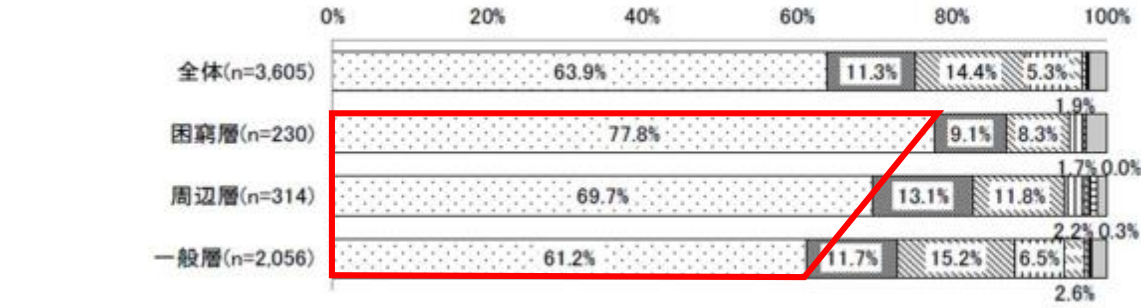


学習塾・家庭教師の利用状況

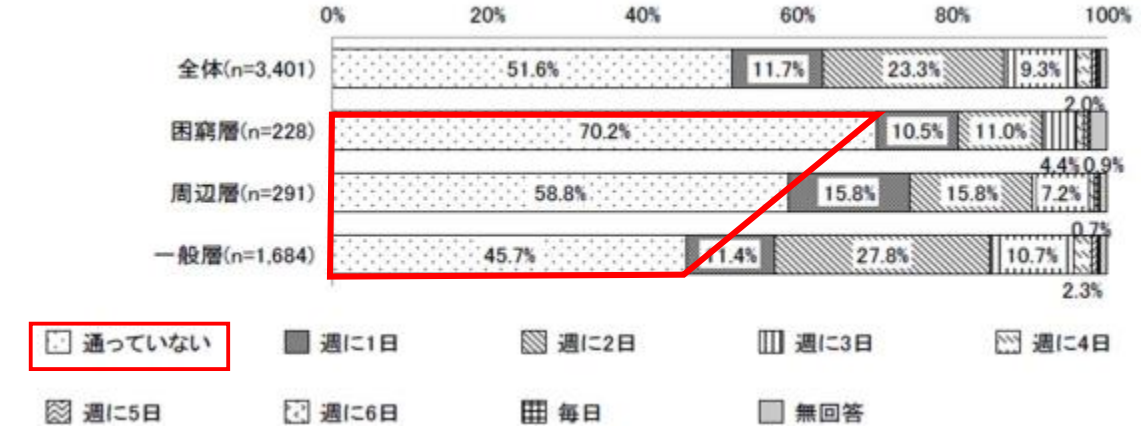
- 一般層に比べ**困窮層**の方が、学習塾や家庭教師を**利用していない**割合が**高い**。

  その傾向は特に**中学生**において**顕著**。

＜小学生＞（p<.01）



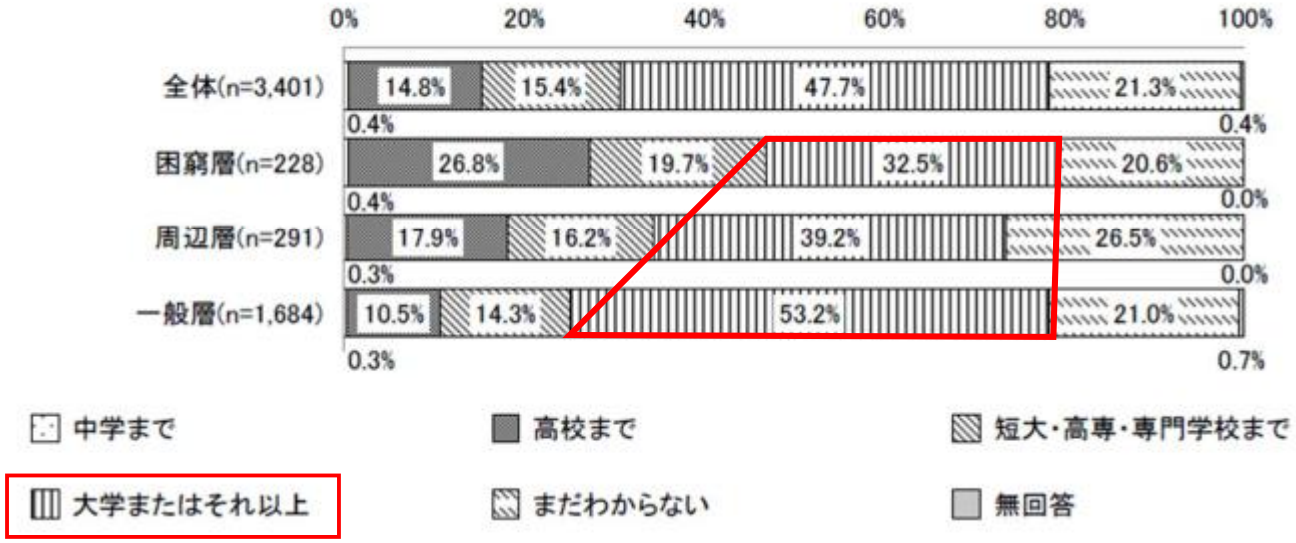
＜中学生＞（p<.01）



進学したい段階

- 一般層に比べ**困窮層**の方が**「大学またはそれ以上」**を希望する割合が**低い**。

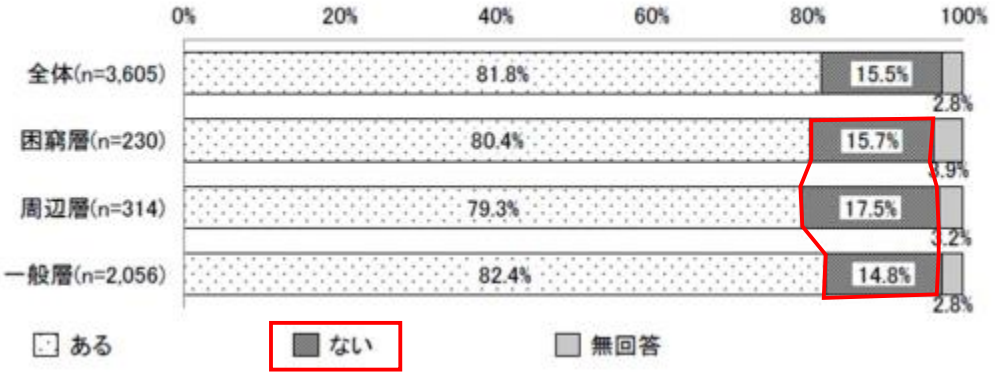
＜中学生＞（p<.01） ※当該設問は中学生のみ対象



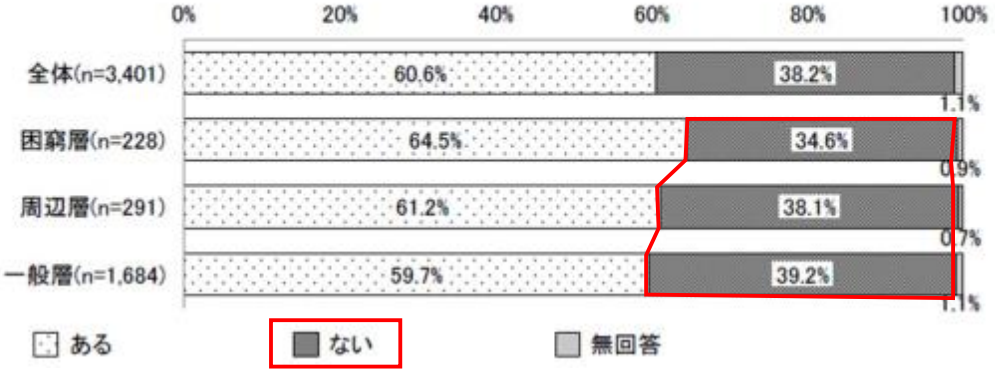
将来の夢や目標

- 小学生に比べ**中学生**において（将来の夢や目標が）**「ない」**とする割合が**高い**。
- 一方で、**生活困難度**による**明確な差は見られなかった**。

＜小学生＞（有意差なし）



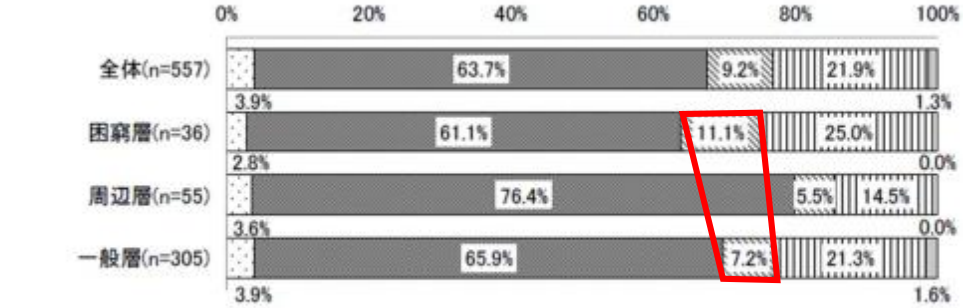
＜中学生＞（有意差なし）



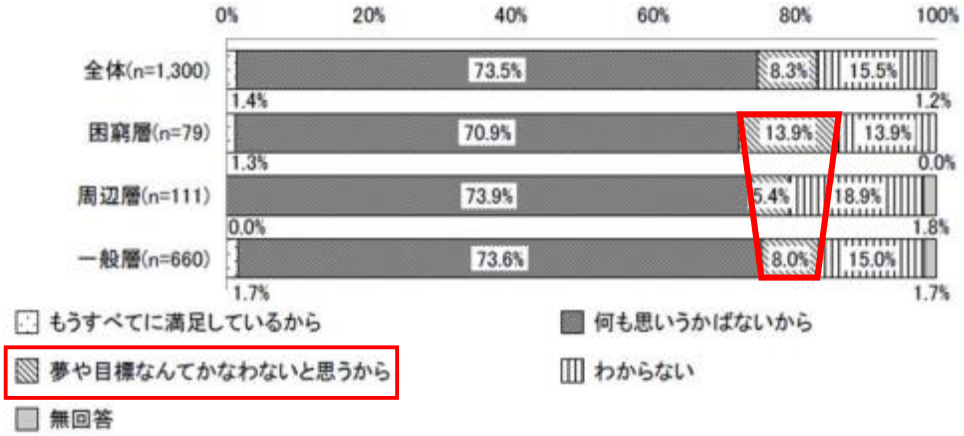
将来の夢や目標が「ない」理由

- 将来の夢や目標がない理由は、
  全ての層において**「何も思いうかばないから」**が最も大きい。
- **困窮層**において**「夢や目標なんてかなわないと思うから」**とする割合が**やや高い**(ただし有意差なし)。 ⇒困窮層ほど将来にネガティブな可能性

＜小学生＞（有意差なし）



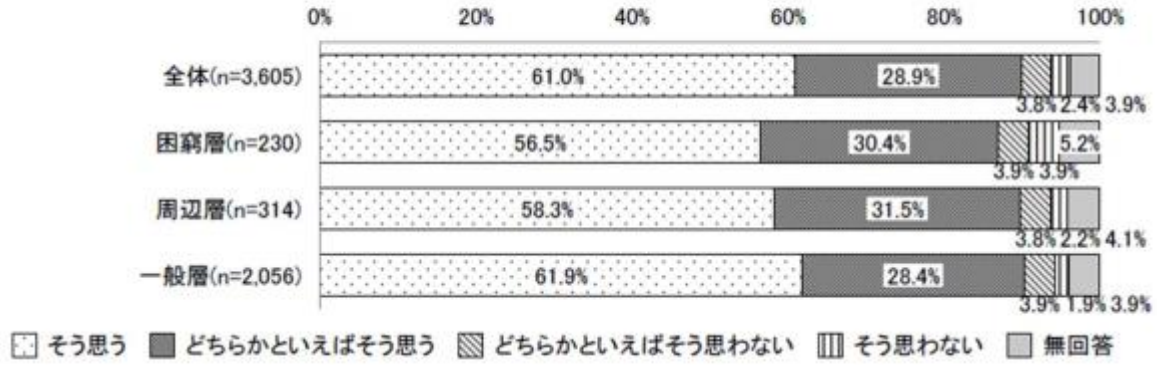
＜中学生＞（有意差なし）



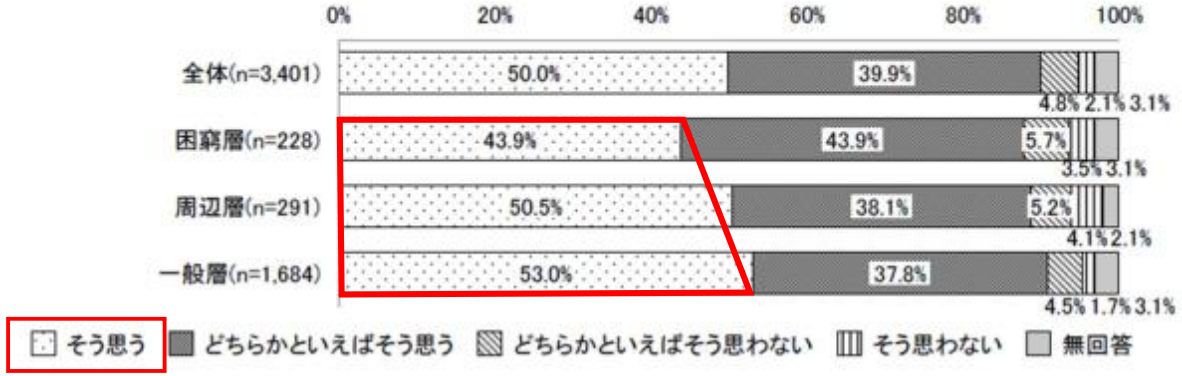
将来のために、今頑張りたいと思うか

- **中学生**では、一般層に比べ**困窮層**において
  将来のために今頑張りたいと「思う」割合が低い。 ※小学生は有意差なし

＜小学生＞（有意差なし）



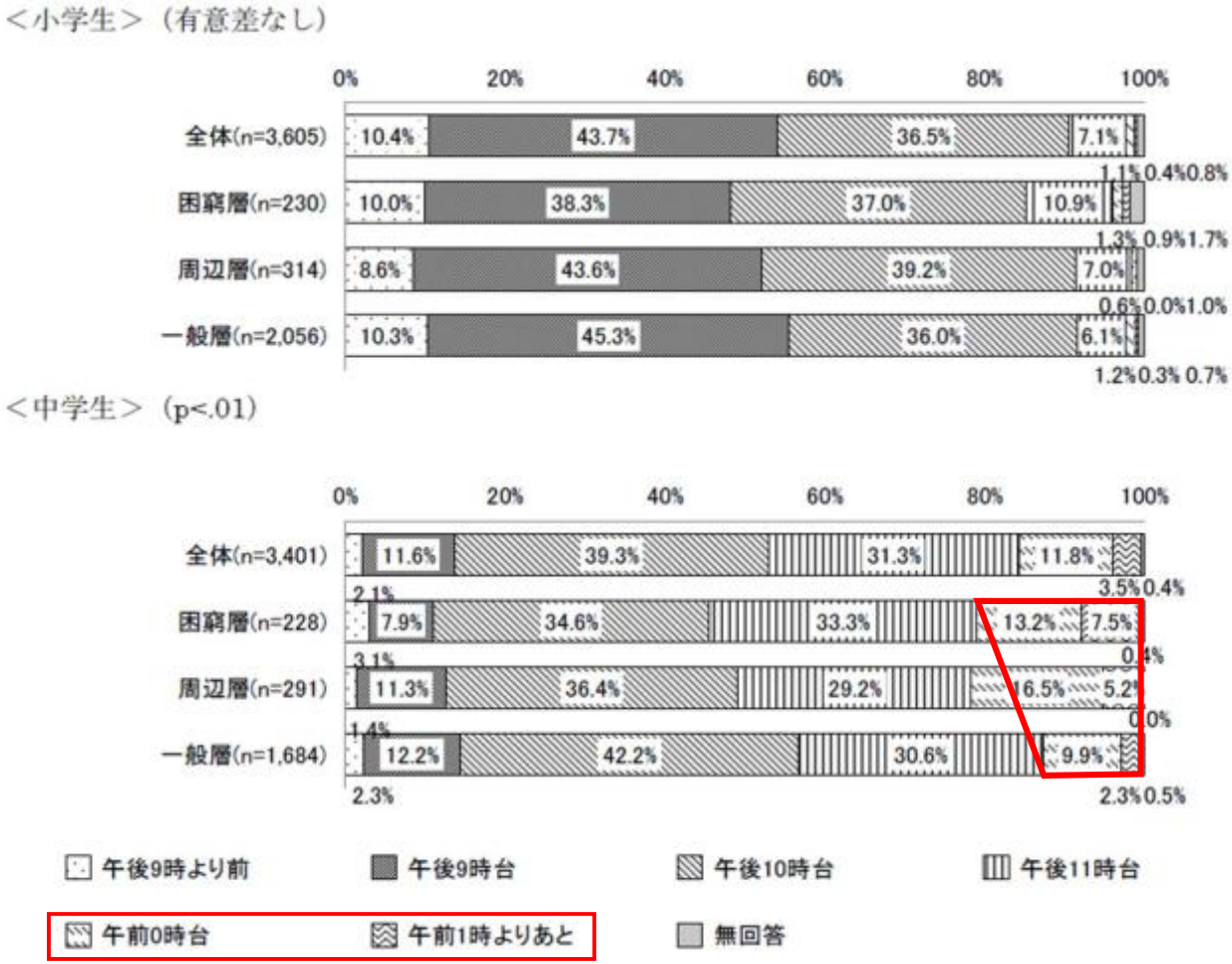
＜中学生＞（p<.05）



※「思わない」割合には
大きな差がみられない。

ふだん(平日)の就寝時刻

- **中学生**では、一般層に比べ**困窮層**において**「午前０時以降に就寝する」**と回答した割合が**高い。**　※小学生は有意差なし



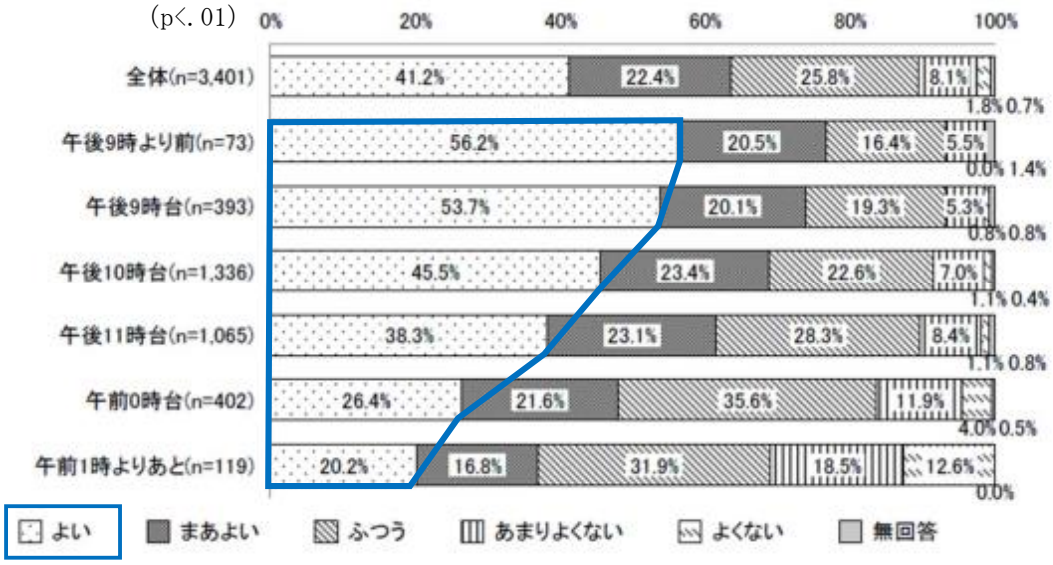
【+α】就寝時刻と健康

- **就寝時刻**が早いほど、心身の健康状態が良い傾向。
- 〃　遅いほど、　〃　が悪い傾向。

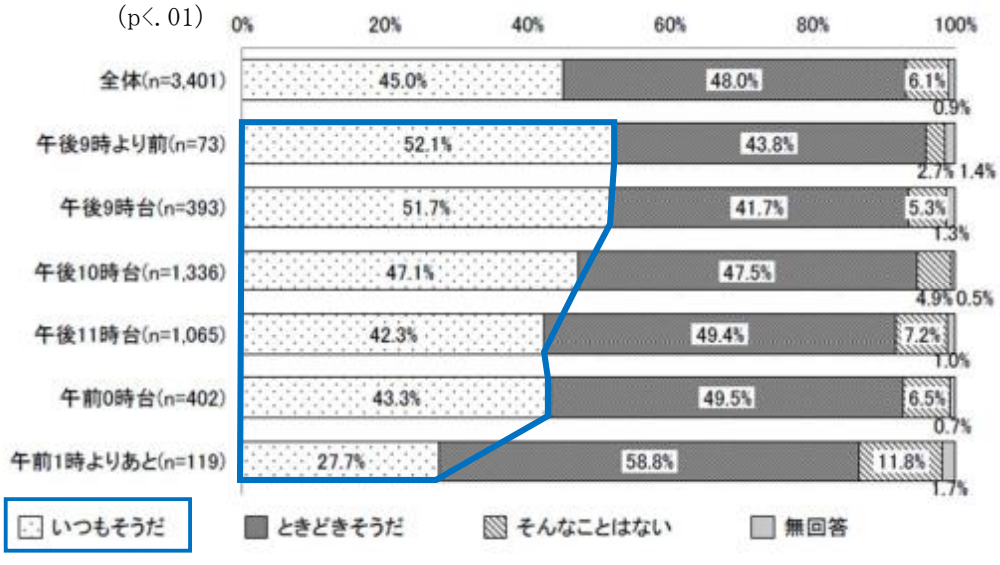
⇒**就寝時刻**と**健康状態**には**高い相関関係**がうかがえる。

＜中学生＞
※小学生も同様の傾向

（自分の健康状態）



（心の状態：楽しみにしていることがたくさんある）

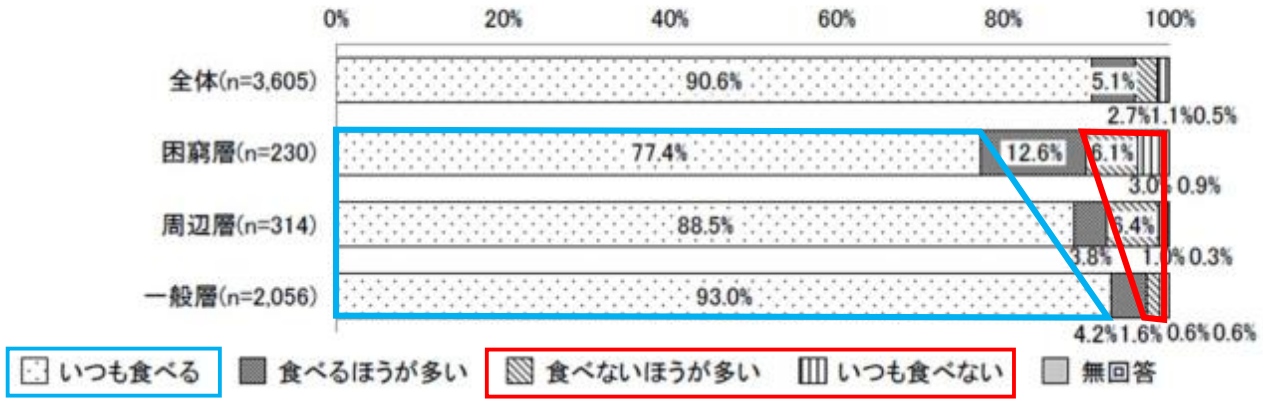
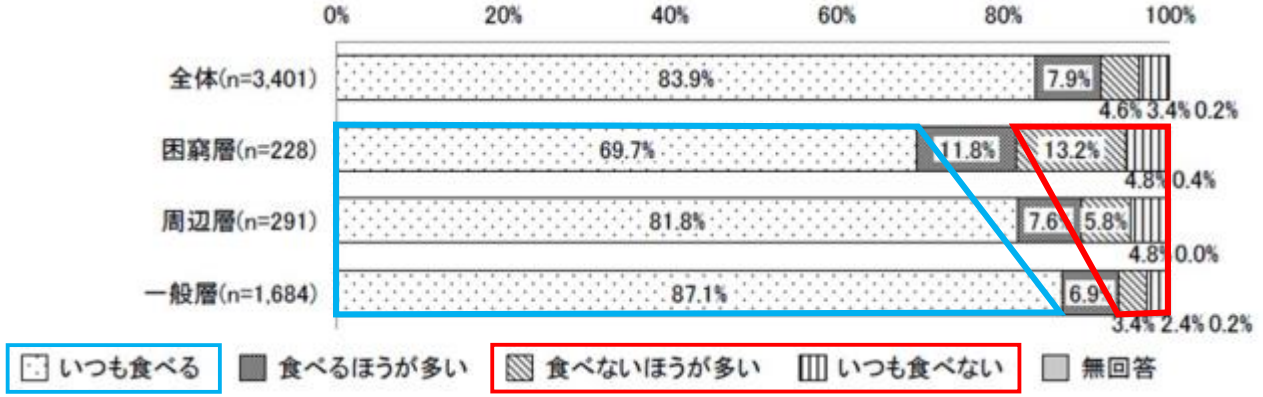


※その他の「心の状態」に関する設問もおおむね同様の傾向。
ポジティブな設問では就寝時刻が早い程「いつもそうだ」が多い。
ネガティブな設問では　〃　遅い程　〃　。

朝食の摂取状況（生活困難度別）

- 朝食を**毎日食べる**割合は、一般層に比べ**困窮層**の方が**低い**。
  （**「食べない**ほうが多い／**食べない」**の割合は**困窮層**の方が**高い**。）

＜小学生＞（p<.01）



＜中学生＞（p<.01）